

平成26年度

事業報告書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月 31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

平成13年5月10日（法人登記 平成22年12月22日）

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・良質な医療を確保する
- ・保険料を効率的に活用する
- ・保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ② 組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③ 公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④ 保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤ その他、前条の目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

種 類	当 期 末	前 期 末	増 減
正 会 員	77組合	71組合	6組合
準 会 員	1団体	—	1団体

5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町1番地

乗物町第一ビル4階

電話番号 03-5577-5411 F A X 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <http://www.kino-suishin.org/main/>

6. 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
代表理事会長	徳永一夫	非常勤	三菱健康保険組合理事長
代表理事副会長	小玉道雄	非常勤	日本アイ・ビー・エム 健康保険組合常務理事
理事副会長	鵜飼雅信	非常勤	グラクソ・スミスクライン 健康保険組合常務理事
理事副会長	佐藤光年	非常勤	丸井健康保険組合常務理事
理事副会長	長嶺秀一	非常勤	太陽生命健康保険組合常務理事
理事	青山尚弘	非常勤	リクルート健康保険組合常務理事
理事	宇治野進	非常勤	三菱電機健康保険組合常務理事
理事	加藤進治	非常勤	パナソニック健康保険組合常務理事
理事	木村(沼越)園子	非常勤	日本ヒューレット・パッカード健康保険組合常務理事
理事	児玉成志	非常勤	花王健康保険組合常務理事
理事	篠原正泰	非常勤	富士フイルムグループ健康保険組合常務理事
理事	武内俊明	非常勤	イオン健康保険組合常務理事
理事	美山博邦	非常勤	トランス・コスモス 健康保険組合常務理事
理事	棟重卓三	非常勤	日立健康保険組合常務理事
監事	井崎恵介	非常勤	東京海上日動健康保険組合常務理事
監事	木村 隆	非常勤	明治安田生命健康保険組合常務理事

特別顧問 武田節夫 非常勤 初代事務局長

特別顧問 安倍孝治 非常勤 第3代会長

特別顧問 満生 忍 非常勤 第4代会長

*本頁の第6項は、平成26年度定時社員総会終了後の状態を記載しています。

7. 職員に関する事項

職員数	職 種	勤続年数
1 名	事務局長	4 年

II 事業の状況

1. 事業の経過及び成果

会員数の動向

平成26年度の正会員数は、前年度末71健保組合であったのに対して、年度中における新規加入が9健保組合、年度末における退会が3健保組合で、差し引きで6健保組合増加し、平成26年度末の正会員数は77健保組合になりました。退会した3健保組合の所在地は、大阪、岡山、福岡と、いずれも遠隔地の健保組合でした。また、平成26年7月に、9つの労働衛生機関が参加している一般社団法人全国健康増進協議会が、本会としては初めての準会員として新規に加入し、平成26年度末の準会員数が1団体となりました。

財務状況

平成26年度の正味財産合計は、前年度に比べて2,649,356円増加して7,853,161円になりました。正味財産のうち、現預金は6,777,161円で、前年度に比べて2,686,956円増加しました。

経常収益は、前年度から916,115円増加して15,804,912円になりました。一方、経常費用は前年度から144,279円微減した13,085,556円にとどまったことから、法人税等70,000円を差し引いた当期一般正味財産増減額は2,649,356円の増加となり、財務内容が大幅に改善しました。受取会費が前年度よりも1,107,000円増加して11,718,000円になったのは会員数の増加によるものです。受取一般事業収入は、191,000円減少して4,085,000円にとどまりました。これは、平成26年度は前年度に比べて、定時社員総会終了後の懇親会出席者が日程等の関係で減少したことに加えて、前年度は全国大会以外に「たばこ対策を考える会」と「女性の健康シンポジウム」という大きなイベントを開催したのに対して、平成26年度に開催した全国大会以外の大きなイベントが「ジェネリックシンポジウム」だけだったことによります。総会費と事業費がそれぞれ前年度よりも減少して、560,240円と

3,968,010円にとどまったのも同じ理由によるものです。管理費は8,557,306円となり、前年度とほぼ同額でした。管理費の内訳で、HP改善費が減少したのは、平成26年度は大きなHPの手直しを予定していなかったからです。また、管理費の増加のうち、事務所家賃の増加は消費税率が平成26年4月に5%から8%へ引き上げられたことによるもの、雑費の増加は事務所のオフィスごみ等を廃棄・溶解処分したためです。

研究会活動

本会の事業活動の中核である研究会活動として、平成26年度は、レセプト・健診データ分析研究会、レセプト点検研究会、柔整問題研究会、特定健診・特定保健指導研究会、健診事業のあり方研究会、女性の健康研究会、たばこ対策研究会、ジェネリック研究会、扶養認定基準研究会の9つの研究会が活動を行いました。平成26年4月に柔整問題研究会が、東京都臨床整形外科医会会長の佐藤公一医師を招いて、恒例となった柔整問題研究会研修会を健保連東京連合会の3階大会議室で開催しました。また、10月には柔整問題の本場ともいべき大阪において、健保組合のほか、市町村国保、後期高齢者広域連合、協会けんぽなどの柔整問題担当者を大阪市御堂筋本町の鐵鋼會館に集めて、柔整問題研究会大阪研修会を開催することができました。同じく10月に、たばこ対策研究会が、昨年に引き続いて福岡大学病院メディカルホールで開かれた日本禁煙科学会学術総会に招かれ、ランチョンセミナーで職域におけるデータを活用した禁煙の推進について事例発表を行いました。11月には、日本臨床整形外科学会からの要請で、柔整問題研究会のリーダーが品川プリンスホテルで開催された日本臨床整形外科学会シンポジウムにおいて講演を行いました。平成27年1月には、健診事業のあり方研究会の代表が、NPO法人日本人間ドック健診協会の依頼で、保険者交流会において講演を行いました。また3月には、ジェネリック研究会が「ジェネリック医薬品の普及を図るためのシンポジウム」を日比谷コンベンションホールで開催しました。このシンポジウムは、日本ジェネリック製薬協会の特別協賛、並びに厚生労働省、日本ジェネリック医薬品学会、及び健康保険組合連合会の後援を受けることができ、本会としては厚生労働省等から名義後援をいただいた初めてのケースとなりました。また、このシンポジウムを契機に、公益財団法人日本薬剤師研修センター様の研修会実施機関に登録されることになり、シンポジウムに会場された薬剤師さん達に研修シールを配付することができました。同じく3月に扶養認定基準研究会が本会の会員限定の活動成果発表会を開催し、大変に参考になったと出席した健保組合職員から好評を得ました。

3月25日に全研究会が参加して健保連東京連合会3階大会議室において平成

26年度の研究会活動報告会を開催しました。健保組合の常務理事・事務長以外の一般職員が、他の健保組合の一般職員と交流し学びあう機会と場所は極めて限られています。そうした中では、本会の中核事業である研究会活動は、参加者の大半が健保組合の一般職員で、職員の教育訓練の場となっています。上述した研究会のほかにも内容の充実した発表が続き、全体として研究会の活動レベルが上がってきていること、そして参加者の意識が高まってきていることを感じさせられました。

平成27年度は設置しないことになった「レセプト点検研究会」からも、生活習慣病管理料を患者に請求しないで、健保組合にだけ請求していて、架空請求を疑わせる事例のあることが調査の結果判明し、調査で判明したのと同じ比率で全健保組合に対して不正請求が行われていると仮定したならば、年間9億円以上の過大支払が発生している可能性があるという重大な発表があり、平成26年度をもって休業することを決定したことが惜しまれました。

基礎知識研修会

平成26年度は、希望の多かった「データヘルス研究会」を設置しなかった代わりに、4回に渡ってデータヘルス計画策定にテーマを絞って基礎知識研修会を開催しました。6月の第1回では、厚生労働省の鳥井保険課長に「データヘルス計画の留意点」について講演をしていただいた後、モデル計画策定健保からの発表と質疑を行いました。9月の第2回では、経済産業省のヘルスケア産業課から講師を招いて「健康寿命延伸産業分野における新事業活動のガイドライン」について講演を聞いた後、モデル計画策定健保による事例発表、パネルディスカッションを行いました。10月の第3回では厚生労働省保険課から担当官を講師に招いて「データヘルスガイドライン説明」を詳しくしていただきました。また健保連 IT 推進部から招いた講師によって「レセプト管理・分析システムの活用方法」を説明していただきました。その後モデル計画を作成した健保組合から、実際にデータヘルス計画を作成したプロセスを詳細に説明してもらい、自健保の計画作成で悩んでいた関係者の好評を博しました。12月に開催した第4回では、SGホールディングス株式会社の人事部から講師を招き、「SGホールディングスグループにおけるコラボヘルスの実践」について講演をしていただいた後、テーマ別に4つのグループに分れてディスカッションを行いました。こういった活動の結果、予定していた第5回目の開催をするまでもなく、データヘルス計画作成に関する各健保組合の不安や疑問点はおおむね解消させることができました。

第3回保険者機能推進全国大会

本会の看板事業ともいえるべき「保険者機能推進全国大会」は、第3回目の大会

を11月25日に、東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館一ツ橋ホールで開催することができました。産業医科大学医学部公衆衛生学教室の松田晋哉教授を招いて「ビッグデータとヘルスサポート」というテーマで基調講演を午前中にしていただいた後、午後の前半でレセプト・健診データ分析研究会、健診事業のあり方研究会、及び女性の健康研究会による研究発表、そして午後の後半では東京大学政策ビジョン研究センターの古井祐司特任助教による「効果があがる構造を知ると計画は作りやすい」という講演、厚生労働省保険局保険課の岩井恒太氏による「データヘルス計画への期待」という講演の後、講師の2名とモデル計画を作成した健保組合の代表3名の合計5名のパネリストとファシリテーターとで、「身の丈に応じた事業」「コラボヘルス」「PDCA」「個人情報の取扱い」というキーワードでパネルディスカッションを行った後、来場者との質疑を行いました。午前中の松田晋哉教授の基調講演から最後のパネルディスカッションまで、テーマがよく響きあって、目先の医療費削減もさることながら、保険者として加入者の健康をしっかりと支えていこうというメッセージがはっきりと伝わる大会になったように感じられました。

常務理事ゼミナール

平成26年度も例年どおり、8月を除いて毎月常務理事ゼミナールを開催し、常務理事どうしの横のつながりの強化と情報交換を行いました。議論されたテーマは30頁に掲げたとおりですが、関西地方からも毎回何人かの常務理事が参加され活発な意見交換が行われました。

外部への情報発信

平成26年度は、厚生労働省の保険課のほかに、経済産業省のヘルスケア産業課や産業構造課とも意見交換をしたりする機会を持つことができました。また、いくつかの研究会では、朝日、読売など大手全国紙の記者から取材を受けるようなこともありました。そのほか、株式会社三菱総合研究所からの依頼で、被扶養者に関する総務省健康事業アンケートに協力するといったこともありました。

保険者機能という言葉が広まるにつれて、本会の活動も認知されるようになってきました。本会としては、様々な機会をとらえて、健康保険組合の等身大の保険者機能について正確な情報を発信していくことが重要だと考えています。

2. 事業の実施状況

(1) 研究会

① レセプト・健診データ分析研究会

第1回 平成26年4月23日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ リーダー、サブリーダーの幹事団選出
- ・ 前年度研究会活動振返りと今年度活動方針及び年間スケジュール決定
- ・ 古井祐司先生（東大政策ビジョン研究センター助教）から医療制度改定等情勢報告
- ・ 4グループに分かれて参加メンバー自己紹介と意見交換

第2回 平成26年5月28日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ 健康分布図のデータ作成・提出方法・スケジュール説明
- ・ 研究会へのグループ制導入についての趣旨説明
- ・ 4グループに分かれ研究会運営・成果物等について意見交換

第3回 平成26年6月27日 健保連東京連合会3階会議室

- ・ 健保事例紹介「ハイリスクアプローチ事例」（すかいらーくグループ健康保険組合 酒匂堅次常務理事）
- ・ 古井祐司先生からのレクチャー 「今年度のデータ集計・活用等について」
- ・ グループワーク（グループ編成と今後の進め方ほか）

第4回 平成26年7月31日 大和証券グループ本社25階セミナールーム

- ・ 古井祐司先生からのレクチャー「データヘルス計画ガイドライン等について」
- ・ 研究会事務局からの報告、アンケート集計結果報告
- ・ グループワーク（事例発表・成果物・進め方検討ほか）

第5回 平成26年8月28日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ 基礎研修「レセプト管理分析システム」の概要と活用方法
講師：大和総研BI社会保険システムソリューション部 安田副部長・山崎氏
- ・ 古井祐司先生からのレクチャー及び報告
「データヘルス計画」作成ガイドラインの概要について
- ・ グループワーク（4グループ）
研究内容について、事例紹介、次回検討内容について

第6回 平成26年9月12日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ 担当理事からの理事会審議内容の報告
- ・ 研究会事務局からの報告
- ・ 古井祐司先生からの報告
健康分布図関連データ集計結果および各健保データについて
- ・ グループワーク（4グループ）

第7回 平成26年10月23日 コマツ本社ビル2階第4・5会議室

- ・ 2014年度健康分布図および重症疾患発症状況等集計結果について
- ・ グループワーク（4グループ）
- ・ 4グループの進捗状況中間発表

第8回 平成26年11月6日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ 担当理事からの報告
- ・ 健康分布図関連データ集計結果及び各健保データについて
- ・ 第3回全国大会発表・分担等について
- ・ グループワーク（4グループ）

第9回 平成26年12月17日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ はじめに
- ・ 担当理事からの報告
- ・ データヘルス計画の状況について
- ・ 全国大会報告
- ・ グループワーク（4グループ）

第10回 平成27年3月10日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・ はじめに
- ・ 担当理事からの報告
- ・ 平成27年度テーマ・体制（案）について
- ・ 古井祐司先生からの報告 ～研究テーマ等について補足及び最新情勢～
- ・ 報告会 ～各グループから説明、質疑～

② レセプト点検研究会

第1回 平成26年4月15日 本会事務所

- ・研究会活動趣旨（平成25年度活動内容紹介を含む）
- ・参加メンバー自己紹介
- ・今年度の活動内容について協議

第2回 平成26年5月13日 本会事務所

- ・今年度の活動内容について協議、活動内容に関する意見交換
- ・自健保の医療費削減・適正化の取り組みや実例報告について協議

第3回 平成26年6月17日 本会事務所

- ・今年度の活動内容について協議、活動内容に関する意見交換
- ・自組合の医療費削減・適正化の取り組みや実例報告について協議

第4回 平成26年7月15日 本会事務所

- ・レセプト点検基礎研修
- ・適正化グループと冊子作成グループの編成
- ・各グループにわかれ今後のスケジュール打合せ

第5回 平成26年8月19日 本会事務所

- ・日本システム技術(株)（レセプト点検事業者）からの説明
- ・グループワーク
- ・今後のスケジュール

第6回 平成26年9月16日 本会事務所

- ・事例研究
- ・グループワーク
- ・今後のスケジュール

第7回 平成26年10月21日 本会事務所

- ・大正オーディット（レセプト点検事業者）からの説明
- ・グループワーク
- ・2グループの進捗報告

第8回 平成26年11月18日 本会事務所

- ・中間発表、現状報告
- ・分科会

第9回 平成26年12月19日 サッポロビール本社会議室

- ・各班における進捗情報発表
- ・各班における話合い
- ・今後のスケジュール
- ・エビスビール記念館見学

第10回 平成27年1月26日 本会事務所

- ・来年度の研究会について
- ・3月25日に行われる活動報告会について
- ・3月開催予定日の変更について

第11回 平成27年2月17日 本会事務所

- ・3月25日総会・活動報告会などの案内
- ・活動報告会での報告の仕方について
- ・各分科会

第12回 平成27年3月16日 本会事務所

- ・3月25日活動報告会の報告内容の最終確認
- ・各分科会

③ 柔整問題研究会

第1回 平成26年4月18日 本会事務所

- ・療養費の適正化を念頭に、不正情報や疑義照会のノウハウを共有し、参加メンバーがスキルアップ
- ・3適キャンペーンの展開など、集団として保険者機能を推進していくことを確認

第2回 平成26年5月23日 本会事務所

- ・療養費適正化の障害となっている「保険適用範囲の不明確さ」について、顕在化している問題点を整理することから検討を行った。

第3回 平成26年6月20日 本会事務所

- ・前回に引き続き「保険適用範囲の不明確さ、曖昧さについて」議論し、このことが不正請求の温床となっていることが確認できた。
- ・一方、厚労省や健保連に問題解決に向けた姿勢が見られないとし、議論の

有効性に疑問を呈する意見が出た。

第4回 平成26年7月18日 麒麟麦酒株式会社横浜工場内会議室

- ・療養費の適正化を推進するうえで、「亜急性」の解釈など保険適用範囲の不明瞭さは大きな障害となっている。
- ・大阪府の柔整啓発ポスターについても、この問題の解決が無いままでは、保険者と柔整師(団体)が協力することは不可能だという意見が出た。

第5回 平成26年9月19日 本会事務所

- ・日本郵船健康保険組合坂本常務理事を講師として招き、日本郵船健康保険組合の柔整療養費適正化に関する取り組みを聴いた。
- ・10月に大阪で開催する柔整研修会について、スケジュールなど細目についての検討を行った。

第6回 平成26年10月16日・17日 鐵鋼會館・大阪府柔道整復師会

- ・柔道整復問題研究会大阪研修会
- ・公益社団法人大阪府柔道整復師会との意見交換
- ・点検業者訪問
- ・地下鉄御堂筋線あびこ駅近隣の「柔整通り」視察

第7回 平成26年11月13日 本会事務所

- ・大阪研修会の総括
- ・今後の進め方について
- ・困難事例への対応について
- ・柔整取扱いに関する検証記録
- ・情報交換

第8回 平成26年12月19日 本会事務所

- ・日本臨床整形外科学会シンポジウム出席報告
- ・はり灸療養費の償還払い一斉切り替えの実施について
- ・柔整研修会(例年4月に開催)の実施延期について
- ・柔整取扱いに関する検証記録
- ・事例発表(イオン健康保険組合)
- ・情報交換

第9回 平成27年1月16日 本会事務所

- ・柔整取扱いに関する審議（消滅時効・亜急性の解釈・受領委任払）
- ・事例発表（太陽生命健康保険組合）

第10回 平成27年2月27日 本会事務所

- ・柔整取扱いに関する検証
消滅時効・亜急性の解釈・受領委任払いのあり方について、被保険者の立場から、柔整療養費の受療委任について検討
- ・事例発表（日立健康保険組合）

第11回 平成27年3月20日 本会事務所

- ・はり、きゅう療養費の適正化について
- ・平成26年度の総括、平成27年度の活動計画
- ・事例発表（山崎製パン）

④ 特定健診・特定保健指導研究会

第1回 平成26年5月14日 本会事務所

- ・役割分担、今後の進行方法等を検討
皆さん積極的に研究会に参加しようとする意欲が高く、次回からグループワークが始まるのが楽しみ。

第2回 平成26年6月13日 ファイザー(株)本社会議室

- ・研究会の目標と目指す成果物を決定
- ・他健保の活動をよく知るために4健保の事例を発表
- ・特定健診、特定保健指導に関してのグループワークと発表を実施
- ・次回の活動予定と年間スケジュールを確認

第3回 平成26年7月31日 株式会社ディスコ本社会議室

- ・初参加組合の組合・自己紹介
- ・他健保組合の活動をよく知るために3健保組合の事例を発表
- ・「特定保健指導」を効果的・効率的に実施するための施策についてのグループワークと発表を実施
- ・次回以降の研究会スケジュール等の確認

第4回 平成26年9月10日 近畿日本ツーリスト(株)本社会議室

- ・他健保の活動をよく知るために2つの健保の事例を発表

- ・10月からのノウハウ集作成にあたっての方向性の確認
- ・グループワークと情報共有のための発表を実施
議題 「特定保健指導」の真の目的を追求する
- ・次回研究会のスケジュール等の確認

第5回 平成26年10月8日 日本アイ・ビー・エム本社会議室

- ・他健保の活動をよく知るために4つの健保の事例を発表
- ・グループワークのメンバー決定と進め方の説明
- ・グループワークと情報共有のための発表を実施
【検討項目】①このタイプがむいている環境・条件
- ・次回研究会のスケジュール等の確認

第6回 平成26年11月12日 日本マクドナルド会議室

- ・他健保の活動をよく知るために3つの健保の事例を発表
- ・グループワークを実施し、各グループが情報共有を行う
【検討項目】②対象者の選定方法 ③指導実施機関
- ・次回研究会のスケジュール等の確認

第7回 平成26年12月10日 富士フイルムグループ健康保険組合

- ・グループワークを実施し、各グループが情報共有を行う
【検討項目】④案内方法 ⑤実施中の課題 ⑥オススメポイント
- ・次回研究会のスケジュール等確認

第8回 平成27年1月14日 ニコン健康保険組合

- ・他健保の活動をよく知るため1つの健保の事例を発表
- ・グループワークを実施
【検討項目】⑦注意点・失敗策 ⑧評価
- ・ノウハウ集に繋がる資料の案内および皆の意見を確認
- ・次回研究会のスケジュール等確認

第9回 平成27年3月11日 グラクソ・スミスクライン株式会社会議室

- ・平成27年度担当理事の紹介、3月25日報告会資料の情報共有、確認
- ・平成26年度の振り返りと、平成27年度への要望などに関し話し合い

⑤ 健診事業のあり方研究会

第1回 平成26年5月16日 日本アイ・ビー・エム健康保険組合

- ・2014年度の健診研の運営について
- ・議事録担当について
- ・自己紹介と研究会に対する期待（参加者より）
- ・健診実施状況（各健保より）

第2回 平成26年6月24日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・今回初参加の方の自己紹介
- ・平成25年度の取り組み報告
- ・ヒアリングシート1の集計結果
- ・ヒアリングシート2～4の説明
- ・今後に向けて
- ・お知らせ

第3回 平成26年7月15日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・古井祐司先生より情報提供
- ・平成26年度取り組み案について
- ・その他

第4回 平成26年8月21日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・古井祐司先生より情報提供
- ・平成26年度健診事業のあり方研究会の進め方について運営委員より説明
- ・各組合よりのヒアリングシートに基づいた情報交換
- ・その他確認事項

第5回 平成26年9月18日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・古井祐司先生より情報提供
- ・平成26年度健診事業のあり方研究会の取組内容について
- ・その他確認事項
- ・各組合よりのヒアリングシートに基づいた情報交換

第6回 平成26年10月23日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・健診ガイド作成について
- ・グループワーク

- ・各組合よりのヒアリングシートに基づいた情報交換
- ・その他連絡事項等

第7回 平成26年11月20日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・第3回全国大会発表内容の共有化
- ・グループワークで健診ガイド検査項目別説明とディスカッション
- ・全体での課題点、疑問点等の共有および協議
- ・その他連絡事項等

第8回 平成26年12月11日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・前回健診研で健診ガイド作成にあたり、メンバーで共有した事項の再確認
- ・今後の進め方について
- ・グループワークで健診ガイド検査項目別説明とディスカッション
- ・全体での課題点、疑問点等の共有および協議

第9回 平成27年1月30日 主婦会館プラザエフ

- ・日本人間ドック健診協会との平成26年度保険者交流会

第10回 平成27年3月5日 東京大学伊藤国際学術研究センター

- ・前回までの振り返り
- ・各グループからの質問、提案についてのディスカッション
- ・健診ガイド完成に向けての今後の進め方について
- ・平成27年度の研究会について

⑥ 女性の健康研究会

第1回 平成26年4月25日 本会事務所

- ・18名中15名出席。大幅なメンバー入れ替わりがあり、10名が新規入会とフレッシュな顔ぶれで第1回の研究会を開催
- ・担当理事からこれまでの経緯、活動を説明
- ・第1回研究会ではリーダーが決まらず、運営メンバー8名をコアに今後の運営をしてゆくことを決定

第2回 平成26年5月23日 ソニー健康保険組合

- ・本業（各参加者の自健保における業務）に影響が出るほどの作業負荷にな

らない範囲の活動とするが、しっかりと各健康保険組合の活動に反映できるような実効性の高い研究成果を出すことを基本方針に決定

- ・各健保の女性向け保健事業の概要紹介と、書面で調査取纏めを行う際の項目検討
- ・女性に関わる医療費分析の状況確認
- ・サブリーダー選出

第3回 平成26年6月20日 健保連東京連合会

- ・「データヘルス・コラボヘルス」の先進的健保であるサノフィ・アベンティス健康保険組合から瀬戸看護師を講師に招き、レセプト等のデータ分析の視点、方法、注意事項、ならびに女性を対象とした保健事業について講演開催
- ・「女性の健康ロードマップ」の推進する会ホームページ掲載案の説明
- ・各健保女性向け保健事業調査暫定版配付
- ・研究会リーダーが決定し体制が整った

第4回 平成26年7月18日 日本マクドナルド株式会社会議室

- ・各健保組合の女性の健康支援事業について
各健保調査表の補足・質疑応答。工夫していることや課題について話合い
- ・女性の疾病データ分析とテーマの進め方
女性の医療費に占めるウエイト、参加健保・メンバーの課題やニーズについてのアンケート結果から、テーマは「婦人科系のがん」「出産・周産期の疾病」とし、次回から2グループに分かれて活発に進めていくこととなった。

第5回 平成26年8月22日 ポーラ・オルビスHD会議室

- ・女性特有の疾病統計について、10健保組合から暫定版も含めて提出があり、各健保組合が自健保組合の特徴・気づいた点について説明を行った。
- ・ベンダーのレセプト情報管理システム等の不具合、想定以上にデータ抽出が容易でないこと、またその結果抽出条件をフリーにした部分があり、正確に同じ条件での比較はできないが、一定の傾向は見て取ることができ、これは一つの成果物。今後はレポートの中身を精査していく。
- ・女性の健康に関する知見や、国のがん統計、官民セミナー等の情報共有。

第6回 平成26年9月19日 文京区男女平等センター

- ・女性特有の疾病統計については、基幹システムの不具合等で新規提出健保はなし。女性の疾病統計および婦人科健診受診状況の各健保組合間比較表を見て、気づいたこと感じたことを全員でコメント。

- ・全国大会での発表について検討し、今年度からの新規参加者が多く研究も初段階で不安という意見も多かったが、過去の成果物活用と可能な範囲での今期取組の中間報告として参加することを決定した。
- ・研究会終了後に研究会のメンバーで、NPO女性医療ネットワークが東京大学伊藤国際学術センターで開催したセミナー〈女性の健康文化祭〉女性が動けば世界が変わる！に参加した。

第7回 平成26年10月17日 小松製作所健康保険組合

- ・定例研究会
全国大会のシナリオ骨子と具体的発表内容の詰めに着手。
- ・講演会
対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長による「女性ホルモンと性差医療の重要性 出産周産期の問題と対策等」をテーマにした講演。

第8回 平成26年11月7日 本会事務所

- ・全国大会の発表内容について、事前に配付したパワーポイントのスライドとノート資料をもとに具体的な確認作業と意見交換を通しで行った。

第9回 平成26年11月21日 健保連東京連合会会議室

- ・全国大会発表資料の最終調整。パワーポイントのスライド・原稿の確認、細部までの修正、各パートの発表時間の計測など。資料調整が不十分なパートは定例会終了後に場所をポラ銀座ビルへ移して作業を続行。

第10回 平成26年12月19日 ヤマハ掛川工場ハーモニープラザ

- ・全国大会の振り返りを行い、良かった点、反省点の意見交換を行った。
- ・今後の研究会の希望テーマについて意見を求めた。
- ・自健保の来年度の女性健康施策予定、アドバイスを受けたいことなどのアンケート回答の集計結果を配付し共有。
- ・定例会開始前に、資生堂企業文化資料館、ヤマハ掛川工場を施設見学。

第11回 平成27年1月16日 資生堂汐留オフィス

- ・女性支援先進事例研究
資生堂・資生堂健保の「女性活動支援を通じた働き甲斐のある職場の実現」
「資生堂の健康経営」の取組みについて事例発表・質疑・意見交換
- ・妊娠出産に係る高額医療費の分析方法
全国大会で発表した妊娠出産に係る高額療養費等の統計事例について、そ

の集計分析手法を再確認し、自健保での試行を募った。

第12回 平成27年2月20日 MSD北の丸スクエア

- ・参加健保が、実務上困っていること、他健保に聞きたいことについて相互アドバイス、ノウハウ・意見交換を行った。
- ・平成27年度テーマの話合いで下記の候補があがり、次回検討となった。
 - ① カラコロ検定の新バージョン作成
 - ② 健診機関の検査精度の質・レベルに係る問題と対策
 - ③ 周産期

第13回 平成27年3月20日 村田製作所健康保険組合(京都)

- ・平成27年度に取組みたいテーマについて
- ・平成27年度の目標

⑦ たばこ対策研究会

第1回 平成26年4月24日 明治安田生命本社ビル会議室

- ・リーダー、サブリーダーの選出
- ・年間の活動計画の説明とその承認
- ・自己紹介
- ・明治安田生命健保組合の事例発表等

第2回 平成26年5月26日 本会事務所

- ・参加健保の「たばこ対策・現状集」をまとめ、これをもとに6月、7月の研究会で、各健保から内容を発表予定
- ・MSD 健保組合から事例発表
- ・三浦秀史先生（禁煙マラソン事務局長）の講話
- ・次回にまとめる「チェックシート」の記入要領を説明して報告を依頼
- ・夏合宿を含め上期の研究会開催日程を決定

第3回 平成26年6月11日 本会事務所

- ・参加健保の「たばこ対策情報集」にもとづいて事例発表
 - 三菱電機健保
 - 小田急グループ健保
 - 大和証券グループ健保
 - SMB C 日興証券グループ健保

- ・三浦秀史先生の講話
- ・「たばこ対策・現状分析チェックシート」の集計結果を発表
- ・奈良合宿の案内等

第4回 平成26年7月14日 本会事務所

- ・3つの健保組合から事例発表と質疑・意見交換
- ・三浦秀史先生からたばこ対策を進める際の考え方や最新情報に関する講義
- ・研究会で集計するデータ資料のテーマと定義の確認
- ・奈良合宿の式次第・役割などの説明

第5回 平成26年8月29日～30日 奈良女子大学 高橋研究室

- ・高橋裕子先生へ活動状況を報告した後、
 - ① 事例発表 (MSD)
 - ② 「職場のたばこ(喫煙)対策 (東京法規出版)」改定の検討
 - ③ Webビデオ作成の検討
 - ④ 畿央大学の東山教授も参加してデータ収集の状況と検討
 - ⑤ 高橋裕子先生による講義

第6回 平成26年9月10日 明治安田生命本社ビル会議室

- ・8月の奈良合宿振り返りとデータ収集の状況確認と意見交換
- ・「禁煙サポート ビデオコンテンツ」の作成について、今後の手順と担当を決定
- ・特別講演 元NHK「ためしてガッテン」ディレクター北折一先生

第7回 平成26年10月15日 本会事務所

- ・前回研究会の振り返りとデータ収集状況の確認
- ・10月26日の第9回日本禁煙科学会・学術総会に本研究会から派遣する代表が講演予定内容を発表。禁煙マラソン事務局長の三浦秀史先生およびメンバーから意見や助言。
- ・禁煙サポート ビデオ作りについて、今後の手順を確認したうえで、3グループに分れてワーク。

第8回 平成26年11月19日 本会事務所

- ・第9回日本禁煙科学会学術総会 in 福岡 (10/26) 派遣報告
- ・参加4健保から今年度の取組みについて報告
- ・禁煙サポート コンテンツの作成作業をグループに分れ実施

- ・平成27年度の本研究会の活動継続の意思確認

第9回 平成26年12月10日 明治安田生命本社ビル会議室

- ・事例発表（3健保組合）
- ・データ収集の結果とまとめ
- ・禁煙サポート ビデオコンテンツの作成

第10回 平成27年1月15日 本会事務所

- ・三浦秀史先生の講義（最近のトピックス）
- ・肌年齢測定体験（メラニン量の測定）
- ・禁煙サポートのビデオコンテンツ作成作業（各グループからの進捗発表、課題点の整理と今後の進め方について検討）

第11回 平成27年3月17日 明治安田生命本社ビル会議室

- ・平成26年度の活動振り返り
- ・禁煙サポート ビデオ コンテンツ・・・・・・・・・・3グループからの発表
- ・三浦秀史先生による最新情報提供
- ・平成26年度「禁煙支援士」試験の実施・・・該当者

⑧ ジェネリック研究会

第1回 平成26年4月16日 本会事務所

- ・各人が自己紹介、当研究会への期待を説明
- ・リーダー、サブリーダー、HP担当者の決定
- ・年間スケジュールと次回の議題の決定

第2回 平成26年5月16日 本会事務所

- ・今年度どういう成果をあげたいか
- ・差額通知をいかに実施し、どういう成果が得られたか
- ・差額通知に関するディスカッション

第3回 平成26年6月13日 本会事務所

- ・レセプト管理分析システムにおける差額通知の機能を大和総研より学ぶ
- ・パナソニック健康保険組合の事例紹介
- ・平成26年度の取り組みの方向性について

第4回 平成26年7月25日 本会事務所

- ・研究会メンバー全員参加のもと、ロールプレー形式でGEの利点や誤解されている点等を楽しく伝えていくシンポジウムを来年3月頃に開催する方向で検討することを決定。

第5回 平成26年度9月12日 本会事務所

- ・GE切替促進に向けた行動変容の重点ポイントを整理
- ・3月11日に日比谷コンベンションホールでGE研究会シンポジウムを開催することを決定
- ・平成26年度はGEメーカーの工場見学を実施せず、シンポジウムに集中することを決定

第6回 平成26年10月31日 本会事務所

ジェネリック使用促進のために行動変容してもらうために重要なことをロールプレー形式で伝えるシンポジウムを平成27年3月11日に日比谷コンベンションホールで開催する予定。講演は武藤正樹教授（国際医療福祉大学大学院）と坂巻弘之教授（東京理科大学）

第7回 平成26年11月28日 本会事務所

- ・3月11日シンポジウムの概要確定、厚労省への名義後援申請終了
- ・メインプログラムであるロールプレー・シナリオ概要と分担を決定

第8回 平成26年12月12日 本会事務所

- ・3月11日シンポジウムの準備
(パンフレットに含める対象者・キーワードを決定、会場下見結果の共有・分担に分れてロールプレーの打合せを実施)

工場見学 平成26年12月18日

- ・先発薬品の工場（サノフィ株式会社川越工場）を見学

第9回 平成27年1月23日 本会事務所

- ・健保連レセプト管理システムのGE普及率（数量・金額）の各健保の使用状況を確認し、今後は数量・金額ベースともにシステムにより簡単に把握できることを確認
- ・本会のHPの不具合により、3月11日開催のシンポジウムを急遽FAXによる申込みに切り替えて案内を発信

- ・シンポジウムの当日のスケジュール、役割等について確認

第10回 平成27年2月25日 本会事務所

- ・3月11日開催のシンポジウムでの役割およびロールプレー内容の確認
- ・レセプト管理システムにもとづく健保別ジェネリック切替率については、今年度の結果を踏まえ、平成27年度も継続して研究することを決定

⑨ 扶養認定基準研究会

第1回 平成26年4月16日 丸井健康保険組合

- ・本年度最初の研究会開催だったが、研究会参加希望者のうち2名の欠席だけで開催することができた。参加希望者も大幅に増え扶養認定に関する関心の高さがうかがえた。
- ・参加者で本研究会に期待することを意見交換し、テーマの選定、グループ分けの案を次回の研究会までに決定することにした。

第2回 平成26年5月16日 大日本住友製薬(株) 東京本社会議室

- ・研究会の冒頭で当研究会の目的の説明、またグループ分けの経緯及び各グループの担当者の役割、スケジュール等を説明。
- ・グループに分かれて初回から熱の入った議論を行った。

第3回 平成26年6月11日 大日本住友製薬(株) 東京本社会議室

- ・共済組合の父母・海外在住の父母に関する扶養認定基準の確認 (Aグループ)
- ・各健保組合の認定日の基準について (Bグループ)
- ・各健保組合が異動届、提出書類一覧表、現況届等の用紙を持ち寄り内容説明 (Cグループ)

第4回 平成26年8月7日 大日本住友製薬(株) 東京本社会議室

- ・厚労省に対する要望事項、海外関連に関する運用・問題点 (Aグループ)
- ・収入基準の考え方[給与収入、自営業者の収入、年金受給者の収入] (Bグループ)
- ・提出書類の紹介、意見交換[住民票の提出、自営業者の収入等々] (Cグループ)

第5回 平成26年9月12日 大日本住友製薬(株) 東京本社会議室

- ・10月10日の研究会内の中間発表にむけて3グループに分れて討議。

第6回 平成26年10月10日 大日本住友製薬(株) 東京本社会議室

- ・今年度前半研究会を終えて、全員参加によるグループ別発表大会を開催。各グループが抱える課題、問題、解決策等、参加者にとって参考になる内容であるとともに、年度後半の活動を期待させるものであった。

第7回 平成26年11月14日 大日本住友製薬 東京本社大会議室

- 10月に全体での発表会を実施し情報を共有、11月から後半のグループ別協議を開始した。

第8回 平成26年12月12日 大日本住友製薬 東京本社大会議室

- ・来年度も当研究会を継続するか出席者に確認した結果、圧倒的多数で継続となった。
- ・グループ別に協議

第9回 平成27年1月9日 大日本住友製薬 東京本社大会議室

- ・3月の発表会に向け各グループで準備作業
 - A： 認定に関する申請書および通知書の検証
 - B： 各健保の資格確認書類を持寄り、それぞれの取扱等を発表
 - C： サンプルの「異動届、申請理由書」により項目と内容を確認

第10回 平成27年2月13日 大日本住友製薬 東京本社大会議室

- ・各グループとも3月13日の成果発表会に向け準備をするとともに、今までの議論の深掘りをした。

第11回 平成27年3月13日 大日本住友製薬 東京本社大会議室

- ・研究会内および推進する会で希望する人に出席してもらい、各グループによる平成26年度の成果発表会を開催。

(2)シンポジウム、研修会、発表会、ほか

月	日	行 事 名	会 場
4	10	平成25年度柔整問題研究会研修会 ・提言「療養費における柔整問題」 近畿日本ツーリスト健保 ・研究発表 柔整療養費改定検証分科会 ニコン健保 マニュアル改定分科会 日立健保 ・事例発表 日本旅行健保 イオン健保 ・講演「整形外科から見た柔整問題」講師： 東京都臨床整形外科医会 会長 佐藤公一医師	健保連東京連合会 3階大会議室
6	10	第1回基礎知識研修会 (テーマ：データヘルス計画策定に向けて) ・講演「データヘルス計画策定の留意点」 講師：厚生労働省保険局鳥井陽一保険課長 ・モデル計画作成健保からの発表と質疑 日立健保 三菱電機健保 ローソン健保	健保連東京連合会 3階大会議室
6	26	平成26年度研究会活動計画発表会	健保連東京連合会 3階大会議室
9	25	第2回基礎知識研修会 (テーマ：データヘルス計画策定に向けて Part II) ・講演「健康寿命延伸産業分野における新事業活動のガイドライン」について 講師：経済産業省商務情報政策局 ヘルスケア産業課 梶川文博氏	健保連東京連合会 3階大会議室

月	日	行 事 名	会 場
9	25	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル計画策定に向けて(3健保から発表) 近畿日本ツーリスト健保 ジョンソン・エント・ジョンソングループ 健保 武田薬品健保 ・パネルディスカッション データヘルス計画策定の勘どころ 	健保連東京連合会 3階大会議室
10	16 17	柔整問題研究会大阪研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・トランスコスモス健康保険組合の取組事例 ・ワールド健康保険組合の取組事例 ・パナソニック健康保険組合の取組事例 ・和歌山県後期高齢者医療広域連合の取組事例 ・奈良県橿原市国保の取組事例 ・柔整問題研究会発表 (療養費における柔整問題) 	御堂筋本町アーバンビル11階 鐵鋼會館会議室
10	20	第3回基礎知識研修会 (テーマ: データヘルス計画策定に向けて Part III) <ul style="list-style-type: none"> ・「データヘルスガイドライン説明」 厚生労働省保険局保険課吉村和也氏 ・「レセプト管理・分析システム」の有効な 活用について 健康保険組合連合会 IT推進部 データ分析推進グループ 丸山明博氏 ・「データヘルス計画」策定のプロセス 日本航空健康保険組合常務理事幸野庄司氏 	健保連東京連合会 3階大会議室
10	26	たばこ対策研究会 第9回日本禁煙科学会学術総会 in 福岡 ランチョンセミナー2に出席 【職域における、データを活用した禁煙の推進】 座長: 木村 隆 (明治安田生命健保 常任理事) 中村 徳男 (小田急グループ健保 事務長) 「データヘルス計画における喫煙対策の推進に	福岡大学病院 メディカルホール

月	日	行 事 名	会 場
10	26	<p>ついて～明治安田生命健康保険組合の例～」 木村 隆／大谷由希美（明治安田生命健保） 「データの活用による喫煙対策について～ 保険 者機能を推進する会 たばこ対策研究会の活動～」 中村 徳男（小田急グループ健保）／ 岩崎 可織（小松製作所健保）</p>	福岡大学病院 メディカルホール
11	25	<p>第3回保険者機能推進全国大会 ・開会挨拶 会長 徳永一夫 ・来賓祝辞 厚生労働省保険局 保険課長 鳥井陽一氏 ・来賓祝辞 健康保険組合連合会 副会長 白川修二氏 ・基調講演 「ビッグデータとヘルスサポート」 講師：産業医科大学医学部 公衆衛生学教室教授 松田晋哉氏 ・研究成果発表 ① レセプト・健診データ分析研究会 健康分布図の新しい展開ほか ② 健診事業のあり方研究会 Phase1「健診ガイド」の中間報告 ③ 女性の健康研究会 女性特有の疾病と「カラコロ検定」 ・パネルディスカッション 自健保の特性に対応したデータヘルス 計画の策定に向けて ① はじめに 副会長 幸野庄司 ② 効果があがる構造を知ると計画は作りや すい！ 東京大学政策ビジョン研究センター 特任助教 古井祐司氏 ③ データヘルス計画への期待 厚生労働省保険局保険課 岩井恒太氏</p>	日本教育会館 一ツ橋ホール

月	日	行 事 名	会 場
1 1	2 5	④ パネルディスカッション ・身の丈に応じた事業 ・コラボヘルス ・PDCA ・個人情報の取り扱い ・来場者との質疑	日本教育会館 一ツ橋ホール
1 1	3 0	柔整問題研究会 日本臨床整形外科学会シンポジウムにて講演 木村元彦（近畿日本ツーリスト健保事業部長）	品川プリンス メインタワー
1 2	2 2	第4回基礎知識研修会 （テーマ：データヘルス計画策定に向けて Part IV） ・SGホールディングスグループにおける コラボヘルス実践例 講師：SGホールディングス(株)人事部 ダイバーシティユニット長 大島英二氏 ・テーマ別の4グループに分れてフリー ディスカッション	健保連東京連合会 3階大会議室
1	3 0	健診事業のあり方研究会 NPO法人日本人間ドック健診協会の 保険者交流会において講演 平 敏征（グラクソ・スミスクライン健康保険組合事務長）	主婦会館 プラザエフ
3	1 1	ジェネリック医薬品の 普及を図るためのシンポジウム ・開会挨拶 ジェネリック研究会 リーダー 片岡徳佑 ・来賓祝辞 厚生労働省医政局 経済課長 城 克文氏 ・講演1 「ジェネリック薬品の新たなロードマップ 2080運動」	日比谷 コンベンション ホール

月	日	行 事 名	会 場
3	1 1	講師：国際医療福祉大学大学院教授 武藤正樹氏 ・ジェネリック関連のロールプレー＋解説 ・講演 2 「バイオシミラー普及をいかに進めるべきか」 講師：東京理科大学経営学部教授 坂巻弘之氏 ・バイオシミラー関連のロールプレー＋解説 ・質疑応答 ・閉会挨拶 会長 徳永一夫 ＊【特別協賛】日本ジェネリック製薬協会 【後 援】厚生労働省 日本ジェネリック医薬品学会 健康保険組合連合会	日比谷 コンベンション ホール
3	1 3	扶養認定基準研究会 活動成果発表会 ・親（義理を含む）の認定 ・配偶者及び子供の認定 ・提出書類と確認書類について	大日本住友製薬(株) 東京本社会議室
3	2 5	平成 2 6 年度研究会活動報告会	健保連東京連合会 3 階大会議室

*特別協賛として、日本ジェネリック製薬協会様には、坂巻弘之先生への講師謝礼金を直接お支払いいただきました。

(3) 常務理事ゼミナール

月	日	開催テーマ	会場
4	16	健診事業のあり方について	本会事務所
5	21	たばこ対策について	本会事務所
6	25	重複受診、はしご受診、頻回受診の適正化	本会事務所
7	16	資金運用とその承認手続き	本会事務所
9	24	健保の組織構成と職員の採用・配置	本会事務所
10	22	傷病手当金の取り扱い（付加給付、社会的治癒等）	本会事務所
11	19	柔道整復療養費の適正化への対応	本会事務所
12	17	データヘルス計画策定の進捗状況	本会事務所
1	28	健康保険料率を変更する際の社内プロセスと広報活動	本会事務所
2	25	レセプト点検の現状と今後の方針	本会事務所
3	18	平成27年度の予算書について	本会事務所

3. 重要な契約に関する事項

契約先	契約内容
大竹リース株式会社	事務所賃貸借契約（月額 216,000 円）
リコーリース株式会社	カラー複合機リース契約他 （月額 23,382 円）
リコージャパン株式会社	BBパック契約（月額 9,288 円）
ファーストサーバ株式会社	メール、HPサーバーのレンタル
株式会社 JALUX	HPの製作、維持管理
古井祐司	特性把握および効果的な保健事業構築に関する研究の推進に関する契約書

4. 役員会等に関する事項

月	日	会 議 名	会 場
4	2 1	4月正副会長会議	本会事務所
4	2 1	平成26年度第1回定例理事会 決議事項 1 6月総会に上程する理事及び監事候補の件 2 新任理事候補の理事会オブザーブの件 3 第8回定時総会開催の件 4 平成26年度第1回基礎知識研修会開催の件 5 全国大会準備チームの設置の件 6 研究会への外部事業者等継続参加の件 7 平成26年度第2回(6月)定例理事会開催の件 報告事項 8 平成25年度決算速報及び会員組合数報告について 9 新規会員獲得状況の報告 10 平成26年度研究会参加健保及び運営にあたってのお願いについて 11 基礎知識研修会企画運営委員会のメンバーについて 12 女性の健康シンポジウムの開催報告について 13 平成25年度柔整問題研究会研修会開催報告について 14 研究会活動の報告について	本会事務所
5	1 2	5月正副会長会議	本会事務所
6	9	6月正副会長会議	本会事務所
6	9	平成26年度第2回定例理事会 決議事項 1 第8回定時総会へ上程する議案の内容承認の件 2 第9回定時総会開催の件	本会事務所

月	日	会 議 名	会 場
6	9	3 平成26年度第2回基礎知識研修会開催の件 4 第3回保険者機能推進全国大会収支計画の件 5 医療機関の診療実態に係る調査の件 6 特別顧問委嘱の件 7 平成26年度第3回(9月)定例理事会・理事懇親会開催の件 報告事項 8 第8回定時総会の進行について 9 研究会アドバイザーとの契約更新について 10 平成26年度入会パンフレットについて 11 第3回保険者機能推進全国大会パンフレット(1)について 12 新規会員獲得状況報告 13 常務理事ゼミナール開催状況について 14 ポラーノの広場の活性化について 15 平成26年5月収支報告及び会員数について 16 研究会活動報告について	本会事務所
6	26	第8回定時社員総会 報告事項 1 第4期(平成25年度)事業報告の件 2 監事の計算書類監査結果報告の件 決議事項 第1号議案 第4期(平成25年度)計算書類承認の件 第2号議案 理事15名、役付理事5名、代表理事2名選任の件 第3号議案 監事2名選任の件	健保連東京連合会 3階大会議室

月	日	会 議 名	会 場
7	7	7月正副会長会議	本会事務所
8	4	8月正副会長会議	本会事務所
9	8	9月正副会長会議	本会事務所
9	8	平成26年度第3回定例理事会 決議事項 1 ジェネリック研究会担当理事選任の件 2 平成27年度テーマ選定委員会委員選任の件 3 平成26年度第3回基礎知識研修会開催の件 4 第4回保険者機能推進全国大会開催の件 5 医療機関の診療実態に係る調査の件 6 平成26年度第4回(11月)定例理事会の件 報告事項 7 健保組合退職にともなう津田珠樹理事の辞任について 8 大阪府の柔整啓発ポスターについて 9 費用の支出を伴う研修会(柔整問題研究会大阪研修会10月16日開催)について 10 第3回保険者機能推進全国大会準備状況について 11 本会HP・メールへの脅威と対策について 12 新規会員勧誘について 13 被扶養者の特定健診受診率向上に関するアンケート 14 準会員として取り扱う範囲について 15 本会の平成26年度 夏季・秋季・年末年始 休業日について 16 常務理事ゼミナールについて 17 平成26年度8月収支報告及び会員数について 18 研究会活動の報告について	本会事務所
10	14	10月正副会長会議	本会事務所

月	日	会 議 名	会 場
1 1	1 7	1 1月正副会長会議	本会事務所
1 1	1 7	平成26年度第4回定例理事会 決議事項 1 平成26年度中間決算承認の件 2 平成26年度第4回基礎知識研修会開催の件 3 ジェネリック医薬品の普及促進を図るためのシンポジウム開催の件 4 第5回(1月)定例理事会開催の件 報告事項 5 第3回保険者機能推進全国大会の応募状況と収支見込について 6 第3回保険者機能推進全国大会当日の進行要領について 7 第4回保険者機能推進全国大会の会場予約について 8 平成27年度研究会のテーマ選定について 9 医療費請求不正事例調査の進捗状況について 10 女性の健康研究会への講師招聘及び会費徴収について 11 第9回日本禁煙科学会学術総会での発表について 12 平成26年度日本臨床整形外科学会への参加について 13 NPO法人日本人間ドック健診協会との保険者交流会開催及び講演依頼について 14 経済産業省経済産業政策局産業構造課との意見交換について 15 新規会員勧誘状況について 16 常務理事ゼミナール・ポラーノの広場について 17 平成26年10月末現在の収支報告、会員数について	本会事務所

月	日	会 議 名	会 場
11	17	18 研究会活動の報告 19 その他の議題 ・三菱総合研究所のアンケートへの協力について ・「平成26年度ジェネリック医薬品使用促進の取組事例とその効果に関する調査研究業務」に係る委員受託について ・10月16日実施の「平成26年度柔整問題研究会 大阪研修会」の開催報告について	本会事務所
12	8	12月正副会長会議	本会事務所
1	19	1月正副会長会議	本会事務所
1	19	平成26年度第5回定例理事会 決議事項 1 平成26年度第5回基礎知識研修会の件 2 平成27年度設置研究会の件 3 研究会参加メンバーの募集方法変更の件 4 第10回定時総会開催の件 5 第6回（3月）定例理事会開催の件 報告事項 6 ジェネリック医薬品の普及促進を図るシンポジウム開催について 7 新規会員勧誘状況について 8 常務理事ゼミナールの活動状況について 9 平成26年12月末現在収支報告、会員数報告について 10 第3回全国大会アンケート結果、収支報告及び大会報告書の作成状況について 11 研究会活動の報告について 12 議案 ホームページのセキュリティについて 13 理事の退任について 14 議案 その他	本会事務所

月	日	会 議 名	会 場
2	16	2月正副会長会議	本会事務所
3	9	3月正副会長会議	本会事務所
3	9	平成26年度第6回定例理事会 決議事項 1 第9回定時総会第1号議案（平成27年度事業計画案承認の件）の件 2 第9回定時総会第2号議案（平成27年度予算案承認の件）の件 3 研究会事業費枠使用承認に関する件 4 医療保険制度ゼミナール設置の件 5 基礎知識研修会運営体制の件 6 事務所休業期間の件 7 第11回定時総会開催日の件 8 新入会員承認の件 9 平成27年度第1回（4月）定例理事会開催の件 報告事項 10 第9回定時社員総会及び平成26年度研究会活動報告会の時間割について 11 第5回基礎知識研修会の開催中止について 12 ジェネリックシンポジウムの応募状況等について 13 HPサイバー攻撃への対処状況について 14 事務所の書類等の廃棄及びオフィス家具の購入設置について 15 平成27年度主要会議等の開催日程について 16 平成27年2月末現在収支報告 17 常務理事ゼミナールの開催報告について 18 会員勧誘状況について 19 「ポラーノの広場」の活性化について 20 研究会活動の報告について 21 その他	本会事務所

月	日	会 議 名	会 場
3	25	第9回定時社員総会 決議事項 第1号議案 平成27年度事業計画案承認の件 第2号議案 平成27年度予算案承認の件	健保連東京連合会 3階大会議室

5. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
前期繰越収支差額	1,855	1,068	1,068	2,415	3,851
当期収入合計	16,112	13,075	12,633	14,889	15,805
当期支出合計	16,898	13,076	11,286	13,452	13,003
当期収支差額	△786	△0	1,347	1,436	2,802
次期繰越収支差額	1,068	1,068	2,415	3,851	6,653
資 産 合 計	2,268	2,464	3,829	5,443	7,977
負 債 合 計	-	196	214	239	124
正 味 財 産	2,268	2,268	3,615	5,204	7,853

Ⅲ 本会の対処すべき課題

1. 常務理事レベルでの議論の活発化について

法人登記する以前の保険者機能を推進する会には、現在のような研究会は設置されておらず、常務理事等が参加する部会が活動単位となっていました。部会間のメンバー移動は少なく、成果物を出すという観点からは停滞していた部会もありましたが、常務理事等に対して議論や親睦の機会を提供し、意見の取りまとめや調整を行う「場」としては、十分に機能を発揮していました。

部会制度を廃止して、平成23年度から開始した研究会制度では、研究の成果物を出すことを研究会の設置目的とし、一般職員や医療専門職も参加できるように改善しました。その結果、職員等に対する他には例のない教育研修の場となり、研究の成果も上がるようになりましたが、常務理事レベルで自由闊達な議論をするという習慣は、いつのまにか消えてしまいました。

この数年間で、医療保険が直面する課題がより鮮明になり、健康保険組合に求められる役割も、より高度化し、複雑化しました。最近の医療保険制度改革が意図する目的や、それぞれの健康保険組合への影響を正しく理解しなければ、常務理事が集まっただけでは、意味のある議論はできません。本会の中で、常務理事等による活発な議論を巻き起こし、やがて対外的に発信していくためには、常務理事をはじめとした健康保険組合の幹部の研鑽を支援する事業や、特定のテーマに対して意見を言える場を作る必要があるのではないかと考えます。

2. 研究会の運営について

研究会参加メンバーの流動性が高くて、前年度からの継続参加率が低いために、年度前半における研究会の運営に大変苦勞しているという声がありましたので、平成27年度に設置する研究会の決定方法、および参加メンバーの登録方法を変更しました。平成26年度に設置されていた研究会を平成27年度にも継続して設置するかしないかは、全会員へのアンケートではなく、平成26年度の各研究会参加者の意見をリーダーに集約してもらい、理事会での審議の参考にさせていただきました。また、参加メンバーの登録も、平成26年度の参加者については、研究会から退会したいとリーダーに申し出ない限りは自動継続とし、新規参加者のみを事務局で募集することにしました。

4月時点における平成26年度と平成27年度の各研究会の継続参加者の比率は次頁の表のとおりで、ほかにも要因はあるのかも知れませんが、参加メンバーの登録方法変更には、研究会参加メンバーの流動性を抑制するという効果はあったように思われます。研究会参加メンバーの流動性を抑制したことが、各研究会の活動レベルの維持・向上によい影響があるのかどうかについては、今後の研究会の活動状況をモニターする必要があると考えています。

研究会への前年度からの継続参加者の比率

研 究 会	平成26年度	平成27年度
レセプト・健診データ分析研究会	41.5%	65.0%
レセプト点検研究会	40.0%	—
柔整問題研究会	47.8%	73.9%
特定健診・特定保健指導研究会	19.0%	50.0%
健診事業のあり方研究会	16.7%	80.0%
女性の健康研究会	40.0%	46.2%
たばこ対策研究会	35.0%	69.6%
ジェネリック研究会	35.3%	66.7%
扶養認定基準研究会	28.2%	45.5%

3. 全国大会の運営について

保険者機能推進全国大会は、3年連続して11月に開催される健康保険組合全国大会の前日に開催したことにより、その開催時期も含めて認知度が上がって来ています。一部には、年度末の方が研究会の活動も終盤なので、成果発表に相応しいという意見がありました。しかし、平成26年度の第3回保険者機能推進全国大会の来場者に対するアンケートの第1項目で開催時期に関する質問をしたところ、今のままでよいという回答が79%ありましたので、11月に開催することが定着していることが確認できました。

開催時間については、ちょうどよい42%に対して、午後だけの方がよいという意見が55%と過半数を超えましたので、午後だけの開催を検討する必要のあることがわかりました。

大会報告書の作成については、作成した方がよいが66%と多数を占めました。作成する必要はないが20%、わからないが14%あり、3人に1人は特に必要とは思っていないことがわかりました。大会から2カ月も後に配られても、その時には感動が薄れているとか、健保内で回覧されても自分の手元に置いておけないので参考文献として使えないという保健師さんからの指摘もあり、報告書を作成する手間と費用を考えると、大会報告書の作成については再考する余地があると判断しました。

識者による講演は、86%の回答者があった方がよいと考えており、やはり研究会発表だけでは来場者が少なくなる可能性があることが分りました。平成27年度は、医療保険制度ゼミナールで良質な講師を揃えようとしていますので、医

療保険制度ゼミナールとどう差別化するのかとか、開催時間を午後だけにした場合には研究会の成果発表とどのように時間配分するのかという課題があります。

参考になる情報がありましたかという質問に対しては、あったという回答が、91%、参加して有意義でしたかという質問に対しては、90%の方から有意義だったという回答を頂きました。

全国大会への参加を決めた研究会に所属するメンバーの中には、研究会の活動時間の多くが発表準備に使われたことに対して、疑問視する方もおられました。また、全国大会に参加する研究会が固定化され、大半の研究会は全国大会での発表には縁がないと決め込んでいるようにも感じられます。しかし、3月25日に開催された1年間の研究成果発表を聞くと、ぜひほかの健保組合の職員にも聞いてもらいたい、知らせたいキラリと光る内容が、それぞれの研究会の成果発表に含まれていました。研究会内の全グループが等しく発表するという考えに捉われることなく、いずれかのグループが他の職員にも知らせたいような成果を出したならば、あるいは研究の中である一部でも報告したいような内容があったのならば、研究会全体で後押しして、ぜひとも全国大会へ参加して欲しいし、そういったキラリと光るものを発見するのは、各研究会の担当理事の役割ではないかと思われれます。

平成27年度は、派手な演出なしでも発表できるように、30分程度の短時間で、内容を重視した成果発表にして、半数くらいの研究会に登場してもらおうようにしたいと考えています。

4. 会員間のコミュニケーション等について

会員相互間のコミュニケーションに関しては、同じ研究会のメンバーの間では、その研究会のテーマとは直接関係のないことに関する相談もよく行われ、密度の高いコミュニケーションが実現していますが、当会全体のコミュニケーションには広がっていないのが現状です。

この問題をSNSの利用により抜本的に改善するため、平成23年度まで会員相互間のコミュニケーション手段として運用していた「3行メール（平成24年度からEXCEL版ポラーノの広場として運用し平成25年度末で運用中止。）」と並行して、平成24年度からFacebook上に非公開の「ポラーノの広場」を開設し、会員相互間のコミュニケーションの活発化を目指しましたが、所期の目的を達成できていない状況であり改善すべき喫緊の課題となっています。

5. 外部への情報発信について

平成26年4月から、Twitterに保険者機能を推進する会というアカウント (https://twitter.com/kino_suishin) を登録しました。フォロワー数を増やして、ゆくゆくは当会の情報発信ツールとして活用したいと考えてはいますが、フォロワー数が広がっていないのが現状です。

また、一般の方に保険者機能について知って頂くことを目的に、公式ホームページとは別に、一般の方によるアクセスを前提としたFacebook上のホームページも下記のURLで開設していますが、まだ十分なコンテンツを提供できないでいます。

<https://www.facebook.com/kino.suishin>

本会の存在感を高め、かつ保険者機能に対する認識を広げるために、外部への情報発信力をつけることは、本会の将来にとって重要な課題であると考えています。

IV 決算期後に生じた本会の状況に関する重要な事実

平成27年3月25日の第9回定時社員総会で平成27年度に設置することが決定されたレセプト事前点検制度研究会については、状況に新たな進展が生まれるまで活動を休眠させることが、平成27年4月27日に開催された平成27年度第1回定例理事会で決定されました。

平成26年度

計 算 書 類

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,777,161	4,090,205	2,686,956
前払金		152,550	△ 152,550
流動資産合計	6,777,161	4,242,755	2,534,406
2. 固定資産			
その他固定資産			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0
資産合計	7,977,161	5,442,755	2,534,406
II 負債の部			
流動負債			
未払金		184,950	△ 184,950
未払費用	54,000	54,000	0
未払法人税等	70,000		70,000
預り金			
流動負債合計	124,000	238,950	△ 114,950
負債合計	124,000	238,950	△ 114,950
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	7,853,161	5,203,805	2,649,356
負債及び正味財産合計	7,977,161	5,442,755	2,534,406

正味財産増減計算書

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	11,718,000	10,611,000	1,107,000
受取一般事業収入	4,085,500	4,276,500	△ 191,000
受取雑収入	1,412	1,297	115
事業収益	15,804,912	14,888,797	916,115
経常収益計	15,804,912	14,888,797	916,115
(2) 経常費用			
事業活動費			
総会費	560,240	639,560	△ 79,320
事業費	3,968,010	4,057,002	△ 88,992
事業活動費計	4,528,250	4,696,562	△ 168,312
管理費			
給与手当	3,804,688	3,771,253	33,435
HP管理費	183,208	158,760	24,448
HP改善費	299,808	496,125	△ 196,317
会議費	21,924	12,300	9,624
交通費	17,786	17,850	△ 64
通信運搬費	293,995	276,735	17,260
事務費	210,800	220,218	△ 9,418
印刷費	158,097	174,984	△ 16,887
水道光熱費	365,850	363,550	2,300
レンタル費	283,302	283,920	△ 618
事務所家賃	2,592,000	2,526,000	66,000
租税公課	39,250	47,800	△ 8,550
雑費	286,598	183,778	102,820
管理費計	8,557,306	8,533,273	24,033
経常費用計	13,085,556	13,229,835	△ 144,279
当期経常増減額	2,719,356	1,658,962	1,060,394
税引前当期一般正味財産増減額	2,719,356	1,658,962	
法人税等	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	2,649,356	1,588,962	1,060,394
一般正味財産期首残高	5,203,805	3,614,843	1,588,962
一般正味財産期末残高	7,853,161	5,203,805	2,649,356
II 正味財産期末残高	7,853,161	5,203,805	2,649,356

正味財産増減計算書は企業会計における「損益計算書」に相当する。

財 産 目 録
平成27年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	15,158
	預金	三菱東京UFJ銀行神田駅前支店 普通預金 定期預金	運転資金として 3,762,003 3,000,000	6,762,003
流動資産合計				6,777,161
(固定資産)	その他固定資産	事務所保証金 大竹リース(株)に対するもの	保険者機能を推進する会の事務所(東京都千代田区神田 北乗物町11番地 乗物町第一ビル4階)賃借保証金として	1,200,000
固定資産合計				1,200,000
資産合計				7,977,161
(流動負債)	未払費用	金本敏男税理士事務所に対するもの	平成26年度分税理士報酬	54,000
	未払法人税等	千代田都税事務所に対するもの	法人住民税均等割	70,000
流動負債合計				124,000
負債合計				124,000
正味財産				7,853,161

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1)リース取引

リース契約 1件当たりのリース料総額が 300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

(2)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込経理方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし

4. 重要な後発事象

該当なし

収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成26年度 予 算 額	平成26年度 決 算 額	差 異	平成25年度 決 算 額	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	11,718,000	11,718,000	0	10,611,000	
(2) 一般事業収入					
臨時会費(総会)	720,000	591,000	129,000	696,000	
臨時会費(事業)	2,525,000	3,494,500	△ 969,500	3,580,500	
(3) 雑収入		1,412	△ 1,412	1,297	
事業活動収入計	14,963,000	15,804,912	△ 841,912	14,888,797	
2. 事業活動支出					
(1) 一般事業費支出					
総会費支出	720,000	560,240	159,760	639,560	
事業費支出	2,875,000	3,968,010	△ 1,093,010	4,057,002	445,312円を管理費より振替
一般事業費支出計	3,595,000	4,528,250	△ 933,250	4,696,562	
(2) 管理費支出					
給与手当支出	4,250,000	3,804,688	445,312	3,771,253	445,312円を事業費へ振替
HP管理費支出	200,000	183,208	16,792	158,760	
HP改善費支出	300,000	299,808	192	496,125	
会議費支出	30,000	21,924	8,076	12,300	
交通費支出	20,000	17,786	2,214	17,850	
通信運搬費支出	300,000	293,995	6,005	276,735	
事務費支出	200,000	210,800	△ 10,800	220,218	
印刷費支出	200,000	158,097	41,903	174,984	
水道光熱費支出	400,000	365,850	34,150	363,550	
レンタル費支出	350,000	283,302	66,698	283,920	
事務所家賃支出	2,600,000	2,592,000	8,000	2,526,000	
租税公課支出	40,000	39,250	750	47,800	
雑費支出	200,000	286,598	△ 86,598	183,778	
管理費支出計	9,090,000	8,557,306	532,694	8,533,273	
事業活動支出計	12,685,000	13,085,556	△ 400,556	13,229,835	
事業活動収支差額	2,278,000	2,719,356	△ 441,356	1,658,962	
II 前払金支出	0	△ 152,550	152,550	152,550	
III 予備費支出	2,208,000	0	2,208,000	0	
IV 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	70,000円未払い計上
当期収支差額	0	2,801,906	△ 2,801,906	1,436,412	
前期繰越収支差額	3,851,255	3,851,255	0	2,414,843	
次期繰越収支差額	3,851,255	6,653,161	△ 2,801,906	3,851,255	

収支計算書に関する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、未収入金、未払金、未払費用、未払法人税及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	4,090,205	6,777,161
未収入金	-	-
合 計	4,090,205	6,777,161
未払金	184,950	-
未払費用	54,000	54,000
前払金	-	-
未払法人税等	-	70,000
預り金	-	-
合 計	238,950	124,000
次期繰越収支差額	3,851,255	6,653,161

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

(単位：円)

科 目	予 算 額	科目間流用額	流用後予算額	付 記
事業費支出	2,875,000	1,093,010	3,968,010	臨時会費(事業)収入より充当 969,500円 給与手当支出より流用 123,510円
管理費－給与手当支出	4,250,000	△ 220,908	4,029,092	事業費支出へ流用 123,510円 事務費支出へ流用 10,800円 雑費支出へ流用 86,598円
管理費－事務費支出	200,000	10,800	210,800	給与手当支出より流用 10,800円
管理費－雑費支出	200,000	86,598	286,598	給与手当支出より流用 86,598円
差 引	7,525,000	969,500	8,494,500	

(2) 予備費の使用

該当なし (但し、会費収入増額にともなう予備費額の調整については次項参照)

4. 平成26年度予算額の表示

平成26年度予算上の会費収入は10,710,000円であったが、会費収入実績額11,718,000円との増差額1,008,000円を予算上の会費収入額に加算して、予算上の会費収入額を決算実績上の会費収入額と同額の11,718,000円を表示するとともに、予算上の予備費額1,200,000円を1,008,000円増額し、2,208,000円として表示している。

5. 前払金支出の戻入について

前払金支出のマイナスは、平成26年11月25日に開催した第3回保険者機能推進全国大会の会場使用料として前年度に支払った前払金を事業費へ振替えたために発生したものの。

監 査 報 告 書

一般社団法人 保険者機能を推進する会

会長 徳 永 一 夫 殿

平成 27 年 5 月 15 日、保険者機能を推進する会の事務所において、
一般社団法人保険者機能を推進する会の平成 26 年度一般会計収支決
算ならびに貸借対照表について、証拠書類や関係帳簿と照合して監
査を行った結果、的確に処理されていることを確認しましたので、
報告いたします。

平成 27 年 5 月 15 日

監 事 木 村 隆 (印)

監 事 井 崎 恵 介 (印)